
息抜き

マカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

息抜き

【Nコード】

N3020A

【作者名】

マカ

【あらすじ】

息抜きをしようと思って書いたものです。

息抜きをしよう。

「……」

何をしようか？ 息抜きをしようと思い至ったのはいいけど何をすればいいのだろうか……ひとまず息抜きという意味を調べてみよう。

緊張を解いて、気分転換のためにしばらく休むこと。やることないなら寝てろや。

バンッ

気のせいだ。最後の一文はおかしい。何ゆえ辞書に半端な関西弁が書かれているのだろうか。

「……」

まあ、いいか。書いてあるとおり少し寝ていよう。

「……」

寝れない。というか寝れなくて当たり前前の気がする。なにせ昨日から今日まで丸一日寝ていたのだ。

「……」

自分でも阿呆なことをしたものだと思う。さりとて寝れないのだ。何か他のことでもしようか。

「……」

人間、家の中にいてばかりだと腐る気がしたので友人と遊ぶ誘ったらすべて断られてしまった。実は人徳がないのではという思いを振り払う。

「……」

気を取り直そうと紅茶を淹れようとしたら茶葉が切れていた。仕方がないので買いに行こう。

「……」

いつも使っている茶葉が売り切れていた。ここまで来ると呪いか

何かではないかと思ってしまう。仕方ない今日は趣向を変えてコーヒーに挑戦してみよう。

「……」

いつもとは違った香りが部屋にただよう。うん、この匂いは好きかもしれない。ブラックで飲める自信がないのでミルクと砂糖を一杯入れてから飲む。

「おいしい」

うん、これからはコーヒーにも挑戦してみよう。さて、ずいぶん時間が経ってしまった。でも、たまにはこういうのもいいかもしれない。

さあ、執筆の続きをはじめよう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3020a/>

息抜き

2010年11月4日13時41分発行